

平成30年度 第1回

ブロック運営委員長会議が開催されました！

8/29（水）協会事務所にて、三役と各ブロックの運営委員長が出席し、第2回ブロック運営委員長会議を開催しました。平成27年の法人化に伴い、年2回開催しており、各ブロックの活動報告や研修・ブロック運営等に関して意見交換が行われています。

意見交換では、ブロック研修や新人の会、ブロック運営委員の決定方法等に関する意見が挙がりましたので、紹介をさせていただきます。

ブロック運営を行う上で参考になれば幸いです。

1. 総務部からの報告 会計処理について

(1) 今年度より、研修講師への口座登録シートの依頼方法が変更となる。

口座登録シートの研修名・開催日をブロック側で記入の上、メールで事前に講師へ口座登録シートの作成を依頼する。研修終了後、講師料を会計担当理事へ報告。

(2) 講師料と交通費は別々に算出する。

交通費実費に源泉徴収は必要ないが、講師料と交通費を合算した金額を支払う場合、合算した金額に源泉徴収を行う事になるため、経費が膨らみ不利益となる。交通費の名目で講師料を水増しすることは、脱税であり、双方に不利益を被る。

2. 情報部からの報告 広報誌アンケートの回収について

8月末会報に同封した広報誌アンケートの回収について説明する。情報部への提出期限は10月末。無記名での回答。協会員がFAXで運営委員長に提供する場合、所属機関が分からないよう、運営委員長が所属機関の印字部分（書面上部）を切り、情報部へ提出する。

3. 機能分野別研修委員会からの報告

7/28（土）MSWと地域包括支援センターもしくは市区町村役場高齢者担当課職員等がペアで参加した機能分野別研修のノウハウを活用して、各ブロックで同様の研修を行ってはどうか。地域毎にニーズも異なるため地域課題の協議の場・地域ケア会議にMSWが参加するきっかけにもなるのではないかと。開催に関する窓口は、同委員会委員長まで。

4. 運営委員長の自己紹介およびブロック活動の報告

運営委員長より、所属機関やブロック運営等を報告する。ブロック活動では、ブロック内の連絡方法、運営委員会の開催頻度、会員がブロック研修や運営委員活動に参加しやすい工夫、運営委員の決め方、研修テーマ、研修参加者の少なさ・固定化等、各ブロックで共通して聞かれた話題あり。1-5年目を対象とした「新人の会」を発足したブロックもみられた。

5. 意見交換

ブロック活動の報告で多く話題に挙がった以下のテーマについて意見交換する。

(1) ブロック運営：運営委員の引き継ぎが上手くいかない。

回答①：輪番制から運営委員からの推薦に変えた事で、意欲的に関わる会員で運営体制を構築する事ができた。運営委員の任期も1期2年にとられず、延長する事で安定したブロック運営が行えている。

回答②：輪番制で行っており、ブロック内で運営委員の選定規程を設けている。運営委員の順番がルール化され、事前に順番も分かるため、問題なく引き継ぎが行えている。

(2) 新人の会：新人の会を発足したが運営方法はどうすれば良いか

回答①：新人を中心にLINEグループを作り、勉強会や懇親会を開催している。現在では初期メンバーも中堅となったが、LINEグループには参加しており、業務の相談等、幅広く活用できている。

(3) 事例検討：ノウハウを共有したい

回答①：ここ数年、他ブロックと合同で事例検討を開催している。他ブロックの参考になるよう事例検討で使用する様式を運営委員長へメール配信する事は可能。

6. その他

(1) 愛知県看護協会への各ブロック運営委員長連絡先の伝達について

尾張西部海部、知多ブロックでは愛知県看護協会との共催企画あり。ブロック単位の共催企画は先方の支部より打診がある。共催を推進するため、各ブロック運営委員長の氏名・所属機関・電話番号を先方へ伝える事で運営委員長より了承あり。

会議後は懇親会を行い、ブロック活動や日常業務、プライベートな話題等、大変楽しく有意義な交流の場となりました！

次回は、2/20(水)に第2回ブロック運営委員長会議を開催予定です。

ブロック運営を行っていく上で有用な意見を会員のみなさまと共有できるよう、今後もこのようなかたちで報告を行っていきます。

報告者：名古屋共立病院 加藤哲也

